

 評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ケアする力  
 [28-新人] ハイリスク薬の基本的薬理学

1. 仕事のなかでハイリスクになりそうな薬をあげてみよう。

2. その薬がなぜハイリスクになるのかを考えてみよう。

ハイリスク薬の例	ハイリスクとなる理由
抗てんかん薬、向精神薬、ジギタリス、糖尿病薬、テオフィリン、抗がん剤 など	投与量等に注意が必要
メトトレキサート、抗がん剤 など	休業期間が設けられていたり、服用期間の管理が必要
イトラコナゾール、ワルファリン など	併用禁忌や多くの薬剤との相互作用に注意を要する
ガチフロキサシン、リバビリン、エトレチナート など	特定の疾病や妊婦等に禁忌
チアマゾール、ベンズフロマロン など	重篤な副作用回避のために、定期的な検査が必要
カリウム製剤 など	心停止等に注意が必要
筋弛緩薬、麻酔導入・鎮静薬、麻薬、麻薬性鎮痛薬 など	呼吸抑制に注意が必要
インスリン、ヘパリン など	投与量が単位(Unit)で設定されている
抗悪性腫瘍剤、強アルカリ性製剤、輸液補正用製剤、造影剤 など	漏出により皮膚障害を起こす